

Metro Ad Creative Award

プランニング部門

TOGAKU  
PBLBOARD



**TOGAKU PBLの魅力とは**

**“ 「都心をフィールドにして」  
PBLに取り組めること”**

PBLを導入する学校の中でも、TOGAKU PBLは一味違います。

東洋学園大学の恵まれた立地を活かし企業などと提携しながらフィールドワークを行うため、より実社会に即してPBLにチャレンジできることが強みです。

## 課題

「PBL」という言葉を知っている人が少ない。

「TOGAKU PBL」を知っている人はもっと少ない。

そのため...

まずは「PBLとは何か」を理解してもらったうえで、

「TOGAKU PBLならではの魅力」を、

“シンプルに”認知してもらう必要があります。

コアアイデア

“新宿駅を  
「学ぶフィールド」  
に変えます！”

そして通行人の皆さんにも「ちょっとだけ」参加してもらうことで、  
TOGAKU PBLの「都心をフィールドにした主体的な学習」を体験してもらいます。

東洋学園大学

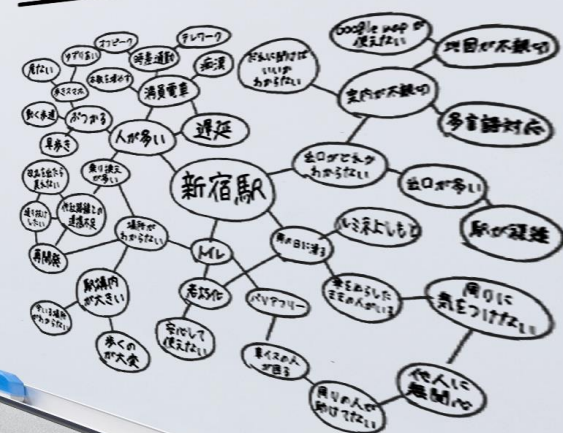
TOGAKU BOARD

東洋学園大学

TOGAKU PBL BOARD



Q. あなたにとっての  
新宿駅の課題は？



PBL①  
仮説

TOGAKU生が  
課題を洗い出しました。

新宿駅の通路が辺り一面巨大なホワイトボードに！  
通行人の皆さんがPBLに参加する場を用意しました。



← 新宿駅の課題だと思うことに、マグネットを貼ってみてください。

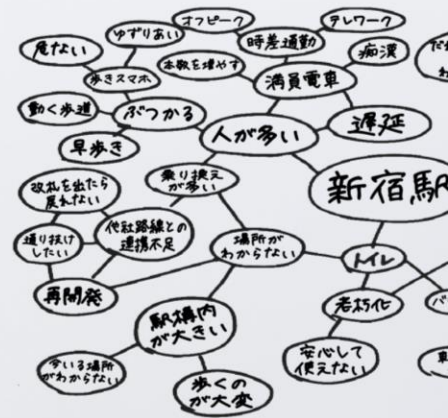


# TOGAKU PBLは、 世の中が学ぶ フィールドに！

TOGAKU PBLの詳細については、TOGAKU PBL BOOKをCHECK！



## あなたに 新宿駅



「あなたにとっての新宿駅の課題は？課題だと思うことに、マグネットを貼ってください。」  
というメッセージと共に、東洋学園大学の学生が洗い出した新宿駅の課題が並べられています。  
通行人の皆さんには自分の意見に沿ってマグネットを貼ることで、「課題に対して主体的に取り組む」という  
PBLのエッセンスを体験してもらいます。

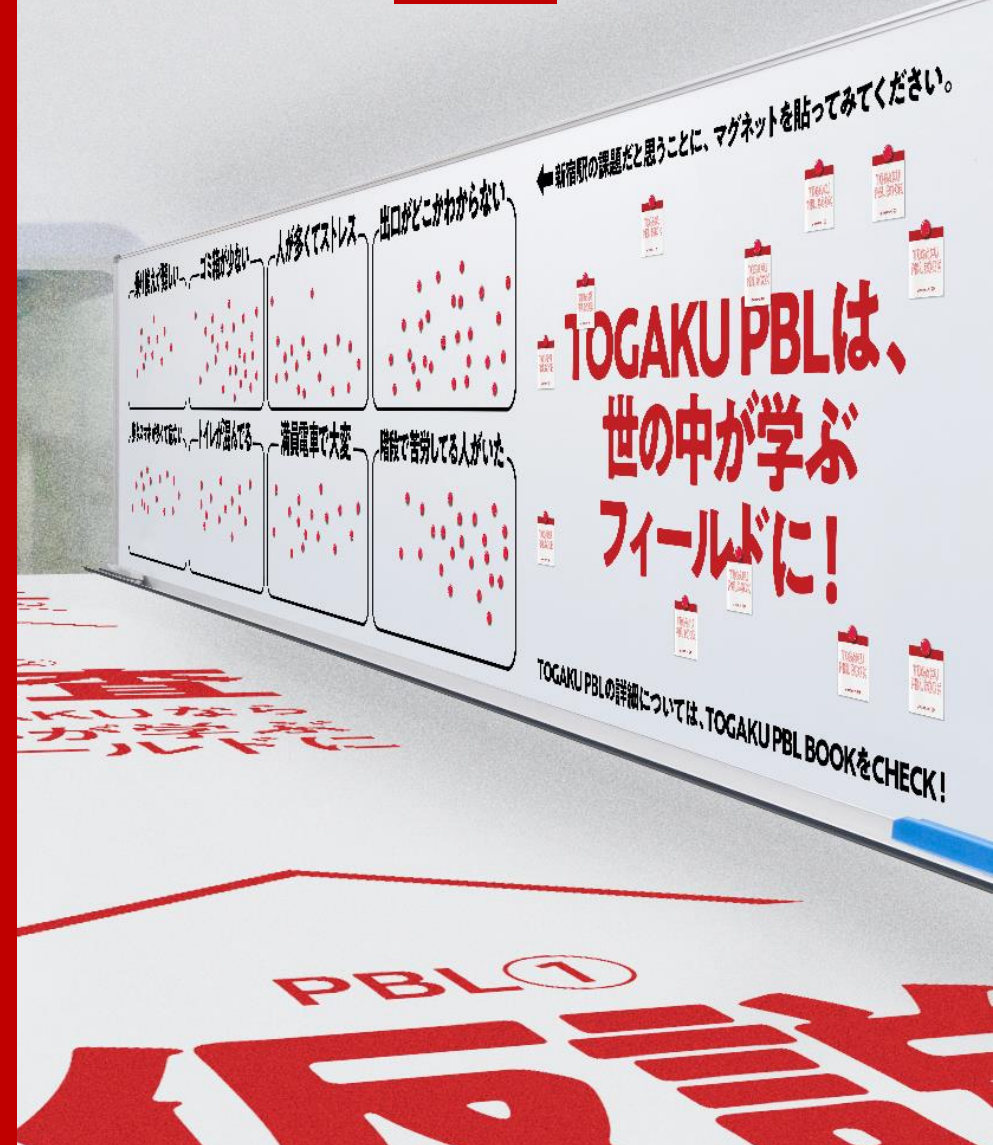


そしてマグネットの下には「**TOGAKU PBL BOOK**」を添付！

TOGAKU PBLや課題発見のプロセスがまとまったハンドブックを（ピールオフならぬ）マグネットオフで配布します。

before

after



通行人の皆さんの意見が集まることでOOHが完成します！



# 課題解決へ

# 話題に



今回の課題はTOGAKU PBLの授業で採用。  
集まったリアルな声をもとに、  
学生たちが東京メトロと協力して課題解決を図ります。

「新宿駅の課題」という皆が潜在的にモヤモヤを抱えている  
テーマを投げかけることで共感を集め、  
駅広告を超えた話題化を狙います。

## まとめ

新宿駅の壁（都心）をホワイトボード（＝PBLを行う場）にすること、  
さらに投票を通じてTOGAKU PBLにも実際に参加してもらうことで、

- 「①PBLとは課題をベースにして主体的に学習すること  
②TOGAKU PBLなら都心をフィールドにしてPBLに取り組めること」

ということを実感してもらいます。